

コロナ禍における学校の情報発信

令和2年3月に、学校が新型コロナウイルス感染防止のための臨時休校になって以来、なかなか新型コロナウイルス感染者数が落ち着くことがない状態で、子どもたちや保護者並びに地域の皆様の安全を考えた時には、従来のように学校開放が自由にできる状態ではなくなりました。

現在も、新型コロナウイルス感染者数が急拡大しており、1月21日付の「学校における感染症対策の徹底について」という文書には、3の教育活動について、「保護者等、大人数を呼び込むような校内行事は行わず・・・」と明記されています。

そこで、年度当初より、本校でできる学校の情報発信としまして、子どもたちの学校での様子を少しでも多く保護者や地域の皆様にお伝えできればと、『学校だより（いなほ）』を発行しているところです。また、動画配信もできる限り実施しているところです。

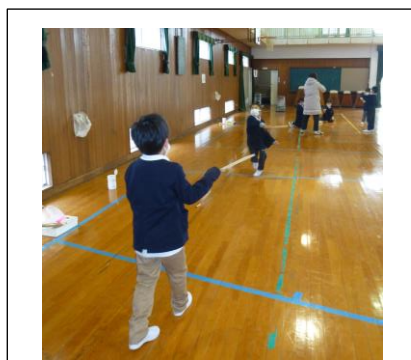
本来ならば、1月29日（土）に、今年度最後のオープンスクールを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策として中止せざるを得なくなってしまいました。子どもたちもお家の方が自分たちの学習の様子を観に来てくださるのをとても楽しみにしていました。本当に残念です。そこで、子どもたちの様子を近いうちに動画配信いたします。お待ちください。

子どもたちの健全な育成のためには、学校と家庭とが連携することがとても大切だと考えております。学校教育を行う上での目標やめざす子ども像について、学校・家庭・地域が共通理解しながら、子どもたちに関わっていきたいと思いますので、ご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

昔の遊びを体験しました（1年生）

1月21日（金）に、1年生が、『むかしのあそび』体験を行いました。コロナ禍の中、できることをやってみました。

1年生15人が、体育館で4つのグループに分かれて、「お手玉」「缶ぽっくり」「けん玉」「はねつき」に挑戦しました。



子どもたちは、昔の遊びを楽しみながら、体験を通して上手にできるコツを見つけいていました。あっという間に時間が過ぎていきました。体育館での昔遊びの体験は終わりましたが、子どもたちは、教室でも家でもやってみたいと話していました。



ぼうさい教室（４年生）

1月20日（木）に、4年生が、水害・土砂災害・地震・津波等自然災害から身を守る『防災』の学習を行いました。

地震と水害の起こり方についても考えました。地震はいつ起こるか予想しにくいのに対して、水害は予想しやすいことがわかりました。

また、日本では、地震が一日に300回ぐらい起こっていることを知り、子どもたちはびっくりしていました。



津波の学習では、普通の波と津波の違いを実験のDVDを見せてもらいながら確認しました。「津波の速さは、海の中と陸上とどちらの方が速いか」というクイズも出ました。津波は、海の中の方が速いそうです。

最後に、子どもたちは、水害・地震・津波などの災害から身を守るために、「いつ避難を始めるのか」「どこに避難するのか」「どんな

ものを（非常持ち出し袋に入れて）準備すればよいのか」等、家族でふだんから話し合うことが大切だと学びました。同時に、避難するときは、家の人と一緒に、そして、高齢者に声をかける等も教えていただきました。ふだんから、身の回りの危ない場所の確認を行い、正しい情報を集めることが大事だということも教えていただきました。

みどりの授業（３年生）

1月20日（木）に、3年生が、環境学習である『みどりの授業』を行いました。この授業では、地球温暖化防止に向けて、私たちにできることを考えました。

最初に、地球温暖化について学びました。そして、地球温暖化を防止するために、マングローブの植樹を推進している話を聞きました。



地球温暖化の原因である二酸化炭素を吸うのは、植物だけです。

地球環境を守るために、私たちにできることは？

- 自然を大切にす。
- ごみを減らす。
- 電気を大切に使う。等